

神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

あしお

第 32 号

特集 話題の人



夕さり ～鎌倉高校前～
丸山晶子（昭和63年卒業）

目 次

会長ご挨拶	3	奪われた手足	22
鎌倉高校の近況 (校長)	4	部活動報告	23
特集：話題の人「池田 純」	5	剣道部創設50年記念祭のご案内	27
職員人事異動	8	進路状況概況	28
私のお店紹介	8	会計報告	29
わくわく キッズ コンサート	11	総会案内	34
同窓会・クラス会	13	役員名簿	35
スポーツ界で活躍する卒業生	21		

題字：増田隆子 (旧姓／小島 昭和 41 年卒業)

表紙：作者略歴

丸 山 晶 子【まるやま あきこ】(昭和 63 年卒業)

神奈川県藤沢市出身 藤沢市在住

小さな頃から絵を描くことが大好きで水彩画、油彩画、パステル画を趣味で描き続けてきた。その後京都で染織を学び、型染めや藍染めを中心に制作。

自ら名付けた“型絵染画”とは型染めの技法を取り入れつつ、彩色では単に色を染めるといよりは描くという絵画的な表現方法を使っている。湘南の四季の風景を主に制作。

2008 年鶴沼桜が岡にアトリエ兼ギャラリー“あとりえ梅庵”をたちあげ、個展やグループ展、イベント、ワークショップも企画開催している。



地方での同窓会

会長 鈴木 勝貴
(昭和 45 年卒)



今年の春は早くやってきて、若葉生える頃の入学式。また、後輩が胸躍らせて日坂を上っていきました。

創立 85 年目を迎えた母校。昨年度、新校舎が完成し、また風景が変わりました。今も変わっていないのが、校門を入って坂を上った右側の部室。痛々しい姿でございます。

昨年の会報にも記載いたしました。が、建て替えも視野に入れた活動をしていきたい。この思いで、昨年度から協賛金をコンビニでもご入金いただけようにはいたしました。皆様方には「請求書」なる文字が先ず目に入り驚かれた方もおられました。これは、コンビニで入金頂くための制度

上致し方ないことでございましたが、説明不足で申し訳ございませんでした。

しかし、おかげさまでご協賛いただきました人数がかなり伸びました。誠にありがとうございます。また、今年も鎌倉高校剣道部選手権大会を開催いただきました金澤明様（1970 年卒）から多額のご寄付を頂戴いたしました。毎年誠にありがとうございます。

還暦を過ぎた私の周りではクラス会が盛んに行われるようになりました。やはり高校時代の友とは一瞬で青春時代に戻れるんですね。

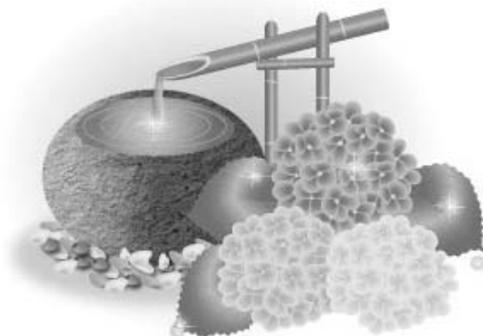
さて、皆様の周りにも年代を超えた同窓生が多く生活をしているのではないかと思います。なかなか気付かないものです。地方においても近所に居られるかも知れません。そこで、各地域で同窓会が開催されてもいいのではない

かと考えます。仙台で開催したいとか、福岡で開催したいとか、そのようなときに同窓会事務局として応援をさせていただきます。と思っています。

そのような申し出を頂戴し、事務局から案内を送送することもできるのではないかと。鎌高を通じたお付き合いが新たに生まれるのではないかと。うしお会関西地区とか全国に展開できたらおもしろいですね。また本号で「フェイスブック」についても案内されております。そのようなところから発展してもいいですね。

皆様から、うしお会発展の為にアイデアがございましたら是非ともお聞かせ願いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

6 月の総会でお待ち申し上げます。



鎌倉高校の近況

校長 柏木 隆良



着任してから
2年目を迎えま
した。

江ノ電の鎌倉
高校前駅で降り

たとき、海風が強く、風に後押しされるように日坂を上って鎌倉高校へ向かったことがありません。風は前に向うために、後ろから押しにくれることもありませんが、帰りの日坂を下るときには、行く手を妨げるように吹くこともあります。

前からの風に負けずに、同窓会の多くの皆様の協力という後ろからの力強い風を受けて、鎌倉高校を前に進めて行きたいと思えます。風が強い日は、また空気が澄み、先日は裾野から富士が見えて手前の青い海と江ノ島と鎌倉のグラウンドが一体となり葛飾北斎の新たな絵が現実

に蘇った感がありました。昨年10月に旧体育館の跡地に新C棟が完成しました。神奈川県立高校の校舎の建て直しでは、

最初の完成になります。2、3階には3年生のクラスルームを配置し、1階には2つの講義室と進学支援室、学習室があり進路実現のサポートが行える施設となっております。また、1階のトレーニンングルームとトイレは、グラウンド等の外からのアクセスが可能で、利便性が高まっています。新C棟の3階の廊下の窓からの景観は素晴らしく、より鎌倉のロケーションの良さが実感できます。

3月1日には、64期生311名が卒業し、鎌倉の卒業生は24,001名となりました。進学状況の詳細は他のページに譲りますが、生徒一人ひとりが頑張り自分の夢の実現に努力している様子がみられます。

平成25年度の入試選抜は、制度が大きく変わる中、鎌倉は人気が非常に高く、神奈川県内の中学生から多くの入学志願者がありました。2月5日の時点で定員277名のところ455名の志願者数があり、倍率が1.64と県立高校の普通科では、4番目の倍率でした。その後、志願変更等で数値は少し減りましたが、高いハードルの難関高校の鎌

倉に、それを乗り越えてきた優秀な67期の新1年生280名(鎌倉・湘南地区の割合は64%)が入学しました。今後の新入生の活躍も大いに期待できます。

平成25年度から、県立高校教育力向上推進事業Ver. IIにおける学力向上進学重点校として改めて指定され、「社会における中核となる人材の育成のために、学校全体での組織的な取組を推進し、伝統の良さを生かしながら、生徒一人ひとりの人間力の向上を図り、自らのキャリアプランを実現する力を高め、その成果として進学実績を向上させる」ことを目標に今後の3年間を見定めて計画を進めています。

学習意欲の喚起や定観測を積み重ねることによる進路指導の充実を図るために、外部機関のシステムを利用した実力テストの実施や補習・講習の充実など、生徒の進路実現のニーズに応える対応をより図っていきます。生徒が中核となる人として育つためには、勉強だけではなく、部活動や行事への積極的な参加や日々の高校生活が重要です。それを支えるためにトータルで優れ

た学校活動が行える鎌高として前に進みたいと考えています。

また、生徒が優れた学校活動を行うためには学習環境の充実が必要です。エアコンの導入、新C棟の完成や部室棟の改修等を行ってきていますが、まだまだ老朽化の箇所や施設の充実を図りたいところがあります。神奈川県では、「まなびや基金」という制度があり、県立学校の教育環境向上のために寄附を募っています。以下のWebページを参考にしてください。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/6088/>

今年度は、キャリア教育の一環として、社会で活躍されている卒業生の方の講演会や直接企業を訪ねるインターンシップ等の教育活動も行っていきたいと考えています。

これら教育活動を支えていただいている大きな力のひとつがうしお会だと思えます。後輩の生徒たちを見守っていただき、背中を押す風となるご支援・ご協力を継続していただければと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

特集

II 話題の卒業生 II

横浜DeNA

ベイスターズ球団社長

池田 純

良質な非常識

今回は、若干35歳で横浜DeNAベイスターズ球団社長に就任されました池田 純社長にスポットを当てました。

社長就任2年目の池田社長をオフィスに訪ね、横浜DeNAベイスターズの今年に掛ける思いを熱く語ってもらいました。

聞き手…S41年卒

森田豊文
深澤隆史

—私は鎌高41年卒なんです池田さんは？

池田 平成6年です。

—鎌高の時は部活をやっていましたか？

池田 クラブチームで水泳をやっていました。

—じゃあ部活には入っていませんでしたね？

池田 藤沢のクラブチームに入っていて結構本格的にやっていたので、部活動に参加することはできなかったんです。

池田 怪我をして、水泳も高校の途中から出来なくなってしまうことになり、その後はずっとサーフィンをやっていました。

—今もよく海には入っていますか？

池田 そうですね、横浜にいた頃少年野球チームに入っていました。

—その頃から横浜ベイスターズのファンだったんですか？

池田 その頃は大洋だったんですよね。

—じゃあ根っからの大洋ファンだったんですね？

池田 鎌高を卒業してから早稲田に入学されたんですね、鎌高卒業生で、若くして社長になられたらそれはすばらしいですね。

池田 最初商社に入って、広告代理店に行きましたが、大きな「組織」で生きて行くのではない選択をして、28歳の時に自分で会社を作って初めて社長になりました。

その頃、現在の球団の親会社である株式会社ディー・エヌ・エーがまだ100人程度の規模の時に外部コンサルティングとして関わっていたのですが、マーケティングや広報のセクションを作ることに関わる中で、そのトップにならないかという話をもらい、また再度「組織」に加入することになりました。

—最初にお目にかかった時、DeNAベイスターズ球団社長は、若いなって思いましたけど。

池田 皆さんそうおっしゃいます。「社長になりたいですか？」というアンケートを各国で実施して、その中で日本が一番社長になりたい人が少ないって新聞に書いてありましたね。

池田 トップになるというのは物事の責任は大きいですけど、自分の思い描くところに導きやすいので非常にやりがいがあります。

—自分が何かを導いていく」という気概は必要なことだと思いますね。

池田 鎌高生は自由な発想や氣質の人が多いですよ。

—他の先輩でうしおに載せる原稿をお願いしている方からメールを貰いまして、鎌高生は芸大とか芸術関係の人が多く、卒業生の比率的に社長とかはあまりいないって書いてありましたね。芸術的な方が向いてるのかな、

池田 自由に物事を捉えて、自由に発想できる人が多いですよ。友人と話をしている時、おもしろい友達が多いです。

私が球団社長になろうが、昔の

関係と変わらずにもの言ってくれる友人が多いのでおもしろいです。

—ところで、横浜 DeNA ベイスターズの社長になられたのは 2011 年でしたか。

池田 2011 年の 12 月です。

—監督は中畑監督、どんな気持ちでした？ やるぞーみたいな。

池田 私はずっと企業再生にも長年、多数の会社で関わってきましたので、球団だから特別な思いがあったりというよりは、「社長」の立場で「球団」という

ひとつの「会社」をどう元気にするか、どう活力を取り戻すかという気持ちでスタートしました。

でも注目度が大きいというのは、なってから改めて感じましたね。

何か発言が新聞記事にもなるし、一言の重みを考えなくてはいけない仕事と役割だなというのは、改めて実感しました。

—今年はいよいよ補強していますね。

池田 出来る補強はしていますが、やはり生え抜きの選手が大切なんです。

でも生え抜きが多数しつかりと育ってくるのは、ある程度時間がかかるので、今年はずっとチームと戦える戦力をしつかり作ろう、と。

巨人はとびぬけた戦力がありまして、DeNA ベイスターズが補強することによって、残り 5 球団はある意味団子だと捉えています。

団子の中にしつかりと入ることによってセ・リーグ、野球界がもつと面白くなると思います。

—そこから数年かけて生え抜きが育ってきて、チームカラーもしつかりしてくるとまた別のチームの形ができあがってくると思います。

—そうですね。

池田 ホームランは 12 球団の中で一番多かったですけどまだ防御力（投手）に不安があります。

野球はピッチャーが重要ですが観ているお客さんやファンに分かりやすく面白いのはやはり打つところでもあるので、そのバ

ランスがしつかりしてくること

を考えると続きます。

補強を含めバランスの取れたチームには昨年よりはなれてきていると思います。

まだまだ投手力は課題ですが、今年も昨年よりも圧倒的に期待してもらえらるチームになつてい

ると思います。

横浜スタジアムは比較的小さい球場なので、長打力のあるチームはファンの皆さんも見ていて面白いと思います。

あとはしつかり「勝」がついてくれば横浜と神奈川がもっと盛り上がり上がって行くと思います。

—インターネットやニュースで見ていると観客を動員するユニークなアイデアをいろいろ実行しているみたいですね。

池田 そうですね。

横浜はお洒落で非常に魅力溢れた土地だと思います。

そして神奈川は野球も非常に盛んなので勝つことだけではなくて、この球団の存在自体でも横浜と神奈川の元気の源にもっともつとなつていきたいと思っています。

野球界についていい意味でも悪い意味でも凝り固まっている部分もあるんで、そこにとらわれない斬新なアイデアにチャレンジしたいという思いがあります。

でも、ただ単にビックリ箱みたいな驚かせるということではなくて、常識だけれども「良質な非常識」に挑戦し続けていきます。

新球団として 2 年目となり、会社全体でしつかりと実現できてきている結果、多数の具体的なカタチになっていきますし、そういう評価もいただけていると感じています。

—楽しみですね、今年どうか光がみえると。

池田 去年ファンサービスとして、チケットの全額返金みたいなことを行ったと書いてありま

したね。

池田 そうですね。

去年は全額返金の企画もやりましたけど、実際には、それで大きな売上を上げることは考えていなく、あくまでひとつの野球を違う角度から楽しむための「提案」であり、その結果として、それ以外のきちんとした商品を買ってもらえるというのもひとつの答えとして考えています。

そういう意味では、あの企画を機に、初めて球団のHPに来てチケットを購入して、初めてな久しぶりなりスタジアムに来てもらえた。非常に大きな効果があったと思っています。

—あれを見て面白いと思いましたがね。

池田 色々物議をかもしましたけどね。(笑)

—やっぱり社長が若いと新しいアイデアが出るんじゃないですか？

池田 アイデアを会社として非常に大切にしていますので、球団のCI(コーポレートアイデンティティ)にもなっている、良

質な非常識”を持った意見やアイデアがきちんと評価される世界で働きたい人っていっぱいいると思います。

誰が言ってるのが重要ではなく、何を言っているのが重要視される世界で、まっすぐに頑張りたいと思ってる若い人たちが沢山いるはずで

そういう人たちがしっかりと働ける会社を創っていかないと、野球界の未来も日本の未来も羽ばたけないと思いますね。

—是非これを若い人にも読んでもらって。

池田 鎌高生にも見てもらえるように。

—いい学校ですよ、娘も鎌高に入れたいんです。

卒業生で鎌高嫌っている人と会ったことないです。ほんとに自由でバランスの良い学校ですよ、

突拍子もなく悪い子が育たない。

—ところで、娘さんをDeNAベイスターズファンにしたいらしいですね

池田 もうなりましたね。(笑)

家内が関西出身なので阪神タイガースのファンだったので、私も球団社長になる前はかなり阪神目線で野球を観させられていました。

私が球団社長になった時は、家内に「どうしてくれるの?」って言われて。(笑)

娘がどっち応援すればいいのって言うので、基本的にはベイスターズを応援しなきゃいけないよと言いつけてきて、娘はやつとそうなってくれました。(笑)

—いい結果を出さないと、又娘さん阪神にいつちやいますね。

池田 そうですね。

強いだけが全てではないですが、しっかりとした強さと共に神奈川中から愛される球団になっていかなんといけませんね。

—これからもDeNAベイスターズ楽しみにしていますよ。

池田 「勝」に向かって球団上げて頑張り続けて行きます。

—我々も応援しますから。

池田 また来てくださいね。

—今年一年ご活躍を祈っています。

池田 ありがとうございます。

「プロフィール」

池田 純

1976年1月23日生まれ

神奈川県横浜市出身

横浜市の小学校、藤沢市の中学校を卒業後、神奈川県立鎌倉高等学校を経て、早稲田大学商学部に入学

同2000年卒業

住友商事株式会社、株式会社博報堂を経た後、

2007年1月に株式会社

ディー・エヌ・エー(以下DeNA)へ入社

2009年4月に執行役員マーケティングコミュニケーションセンター室長に就任

2010年4月1日に株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとDeNAとの合弁会社である株式会社エプスタの代表取締役社長に就任

2011年12月2日、プロ野球球団横浜ベイスターズをDeNAが買収したことに伴い、同球団初代表取締役社長に就任、現在に至る

職員人事異動

○大変お世話になりました。

❖退職者

原田 三紀夫 先生 (副校長) 逗葉高校へ

都築 秀保 先生 (英語) 横浜桜陽高校へ

宮澤 佳代 先生 (社会) 鎌倉高校へ

中澤 宏子 先生 (英語) 鎌倉高校へ

❖転出者

志村 幸彦 先生 (教頭) 高浜高校へ

程島 敏博 先生 (国語) 高浜高校へ

原 敏 先生 (国語) 藤沢清流高校へ

厚美 香織 先生 (数学) 小田原高校へ

矢ノ倉 太介 先生 (理科) 湘南高校(定時制)へ

佐野 佐知子 先生 (英語) 茅ヶ崎西浜高校へ

加藤 忠央 先生 (社会) 平塚商業高校へ

山本 徹 先生 (英語) 藤沢清流高校へ

曾我 真由美 先生 (家庭) 寒川高校へ

本間 佳子 先生 (英語) 横浜立野高校へ

小方 敏 事務局長 横浜立野高校へ
櫻井 かおり 主査 茅ヶ崎西浜高校へ

○よろしくおねがいたします。

❖転入

伊藤 剛 先生 (副校長) 平塚江南高校より

永田 宏 先生 (教頭) 平塚中等教育学校より

花田 ひろみ 先生 (国語) 寒川高校より

横山 裕紀子 先生 (英語) 藤沢総合高校より

増尾 茂男 先生 (社会) 金井高校より

星野 謙治 先生 (理科) 津久井浜高校より

石井 里美 先生 (家庭) 横須賀光明光高校より

真鍋 由紀 先生 (英語) 荏田高校より

鹿志村 均 事務局長

路川 大輔 主事 県土整備局建設リサイクル課より

❖新採用

東條 薫 先生 (理科)

梅宮 佑喜 先生 (英語)

私のお店紹介

創業 嘉永元年(一八四八年)

山田屋本店

17 回生 (S41 年卒)

岡本 治男

古都鎌倉で

一五〇年にわたって

商いを続ける老舗

〓日本酒好きです〓

五代目店主が、

お酒について語ります

売って楽しい商品を売る

笑顔、笑顔にまた笑顔……。

店主の岡本治男さんは、実にいい笑顔の持ち主だ。それもその

はず「私は商売を楽しませてもらっていますから」と破顔一笑。

情勢厳しいこのご時世にいい表情でいられるのは、もちろん

商売が好調だからである。そして、その健闘ぶりは、財団食品

流通構造改善促進機構が実施した 98 年度優良経営食料品小

売店全国コンクールで会長賞受



賞という実績が如実に物語っている。

「審査の過程で訪問調査に来たコンサルタントの方に、うちのやり方を洗いざらい見てもらいました。そのうえで、の受賞は、このやり方でいいんだと専門家に認めてもらったことなるわけですから、大きな自信になりました」と語る岡本さんだが、3 年ほど前には自店の方向性を見失って意気消沈していた時期があったという。

「市場環境が大きく変わりつつある時期、夫婦 2 人でやって

いるような個人商店で5年先、10年先やっていけるのだろうか、21世紀にいい状態で商売を続けていくことができるのだろうか、と不安になりました」

鬱々と悩む日々もあった。しかし、不安な前向きな姿勢が打ち消した。「くよくよしてもはいじやないかと思うようになって吹っ切れました」楽しく商売をするとは、「売って楽しい商品を打つところ」だときっぱりと言う。

「売れているから欲しくなる商品ではなく、その人の感性で欲している商品売っていきたいんです。この商売は、お客様の欲する商品を提供すれば終わりというのではなく、その後、そのお客様が『あの酒おいしかったよ』と言って再び来店してくれることで完結する。その喜びをよりどころとして商売を続けていけばいいんじゃないか———と思えるようになったんです」

受賞は、気持ち新たに商売

に取り組みきっかけになった。

地酒を核にした店づくり

大学を卒業した後、大手スーパーマーケット勤務を経て、25年前に山田屋本店を継承。20年前に新潟の蔵元で酒造りを体験したのを契機に日本酒の魅力にめざめて以来、地酒の販売に力を注いできた。店のつくりを見ても、店の半分は地酒コーナーに充てるという力の入れようだ。現在は銘酒「八海山」をはじめとして蔵元と直接取引している10銘柄と、問屋経由の仕入れ品を合わせて約60銘柄を販売。いずれも自分の舌で厳選した品である。

「自分の趣味に走った品揃えはしていません。お客様の多様な感性に比べられる品揃えを心がけています」

地酒コーナーには、平台のほかに氷温冷蔵用リーチン5面を配したほか、6年前には2坪半のセラーを設置し、高級品の品揃えと、品質管理へのこだわり

りをアピールする。個々の商品には手書きのPOPや、みずから訪ね歩いた各地の蔵元の写真を添えたり、新聞の切り抜きやリリースなどの情報を店内に掲げる。新商品情報は随時、手書きのパンフレットを作成してお客様に配るなどして情報の発信につとめている。

PB商品で差別化をはかる

品選びに迷っている様子のお客様には声をかけ、20年来の知識と経験をもとに希望を聞いてびつたりの酒をお勧めする。利き酒師の資格を取得した佳子夫人も岡本さんをがっちりサポートしている。

「うちの店で買いたいと思ってもらうための『何か』が必要なんです」

その何かが、品揃えや行き届いた品質管理、情報、コンサルティングなのである。地酒の品揃えで他店との差別化を狙う業務店からの相談も着実に増えている。

もうひとつ「売って楽しい商品売る」という岡本さんのポリシーを具現化している取り組みがある。山田屋本店だけで販売しているPB商品「天青」である。地酒に興味を持ち始めた当初10年間は新潟の酒に傾倒していたが、その後全国を回っているうちに地元回帰の念がめばえ、湘南の地酒を造ろうと企画。茅ヶ崎の蔵元と組んで94年から純米大吟醸酒を造っている。

「蔵元・メーカーとおお客様の仲介に徹しているうちプロデュースしてみたいという気持ち湧いてきて」

天青は、毎年1口1万円で500口の会員を募り、1口につき720ml瓶3本を配布している。

湘南の地酒を愛する会

また、岡本さんが発起人となって湘南地区の酒販店仲間と「湘南の地酒を愛する会」を結成。同じ茅ヶ崎の蔵元で「限定純米吟醸」というPB商品を造



り、県内18店で販売している。PB商品は、地元の人々の夢を担うものと好評を得ているし、ギフトや観光客のお土産のニーズもあり、新たな名物として地元産業の振興にも一役買っている。さらに現在、ホームページの開設を検討中で、ゆくゆくは県外の新たな地酒ファンを獲得していきたいという。

「最近、つくづく商売がおもしろいと感じています。それに笑顔でいると、不思議といい情報が集まってきて、商売がいい流れに乗っていくようですね」

「どうやら笑顔こそ店を元気にする最大の秘訣ということのようだ。」

— お取り扱い商品一例 —

清酒

天青・久保田・八海山・天狗舞・菊姫・南部美人・浦霞・真澄・出羽桜・くどき上手・満寿泉・まつもと・南 他

焼酎

萬膳・蔵の師魂・野海棠・馬・ネリヤカナヤ・くじら・鳥飼・海・無一物・赤兎・杜氏潤平・つくし 他

泡盛

醉古 他

梅酒

七福神シリーズ・梅の宿シリーズ・花札シリーズ・子宝シリーズ 他

● 営業時間 & 定休日

* 定休日：毎週日曜日・月曜日

* 営業時間：あさ十時～よる八時

※なお、このほか蔵元へ出かけるとき等、臨時休業させていただくこともあるので、遠方よりお越しの場合にはあらかじめお電話にてご確認ください。

TEL：〇四六七一二一〇三三八
FAX：〇四六七二四一八四九七

うしお会では皆様の同窓会を応援します

昨年度より参加者100名を超えると思われる学年同窓会、または部活動OB・OG会の開催につきましては、応援金として20,000円、50名から100名の場合は10,000円を寄付させていただくことにいたしました。

幹事の方は、予め開催する旨、日時会場などをうしお会ホームページに掲載申し込みしてください。

尚、開催報告として数枚の写真とコメントを後日お送りください。ホームページまたは会報誌「うしお」に掲載させていただくことをご了承ください。

お申込み

うしお会ホームページからメールフォームでお申し込みください。

受取方法

開催日前日までに幹事さんへ来校していただきます。

※また、名簿、会場（うしお会

会員が経営する店舗）などもご案内することが可能ですので、ご相談ください。

うしお会地方開催

昨年の会報「うしお」の発行部数は、約17,000部でした。と言うことは、うしおの会員が全国に約17,000名いると言うことです。

当然の事ですが、年々会員は増えていきます。この中には、地方で生活をされている会員の方が多くおられます。同じ鎌高卒業生として、その地域でうしお会を育てて頂くこともできるのではないのでしょうか。うしお会事務局は、各地域での開催を応援いたします。同窓会開催計画を事務局に連絡頂き、打合せ後、事務局にて案内を送ります。個人情報に十分な注意をした対応をさせていただきます。まずはご相談を。

ベルフィーユ・アンサンブル



わくわく

キッズコンサート Vol.4

2013 年 5 月 25 日(土)午後 1:00 開演 ◆栄区民文化センター リリスホール
0 歳から入場可能! 約一時間のコンパクトな公演。朗読と音楽、体験コーナー、ミニ・コンサートの三部構成。

大人のためのコンサート Vol.4 in 2014

2014 年 1 月 25 日(土)午後 2:00 開演 ◆逗子文化プラザ なぎさホール
企画を凝らした第一部と本格的なコンサートの第二部。クラシック初心者もお好きな方も楽しめます。

*星の王子様とフランス音楽
大人のためのコンサート Vol.3 より



梅津美葉

ヴァイオリン, 44 回生

安藤美佳

ヴィオラ, 41 回生

安井弘子

ハーブ, 43 回生



宇治田かおる
ピアノ, 42 回生

加納敬三
フルート, 33 回生

淵岡優子
ソプラノ, 40 回生

ベルフィーユ・アンサンブル



- 2013.1 - 大人のためのコンサート Vol.3
「星の王子様」とフランス音楽
- 2012.5 - わくわくキッズコンサート Vol.3
朗読「すみれおばあちゃんのひみつ」と音楽
- 2012.1 - 大人のためのコンサート Vol.2
写真家 糸川真木彦氏の写真「人」と音楽
- 2011.6 - わくわくキッズコンサート Vol.2
朗読「かわいことりさん」と音楽
- 2010.12 - 大人のためのコンサート Vol.1
クリスマス休戦「世界で一番の贈り物」と音楽
- 2010.6 - わくわくキッズコンサート Vol.1
朗読「ふしぎなバイオリン」と音楽

《その他の活動》

銀座でのコンサート

小学校での音楽鑑賞会

チャリティコンサート『祈り』シリーズ

～来場者の声～

《キッズコンサート》

- ◎お話&演奏の時、11ヶ月の娘がとても楽しそうに踊ったり、しゃべったりしていました。生演奏は子供にいい刺激になったと思います。
- ◎3才の息子は1部から3部、全て興味深く集中して聞いていました。
- ◎生演奏、本物の楽器を体験できて、孫のみでなく、若夫婦もリフレッシュしておりました。
- ◎絵本と音楽のコラボレーション毎回楽しみにしています。
- ◎子供と一緒に演奏を楽しめる機会がなかなかないのでとても有難いです。生の音は感動しました。
- ◎子供達がとても楽しそうで大人も癒されました。

《大人のためのコンサート》

- ◎新年の土曜午後、ゆったりとした気持ちで楽しめました。
- ◎このようなコンサートを、各地でして頂きたいと思いました。また来年も楽しみにしております。
- ◎鎌高卒業生としてなんとなく共有できるものがあり、有難く思います。
- ◎会のやろうとしていることがとてもよく感じられ、感動しました。



朗読

濱田典子 40 回生
元フジテレビアナウンサー

編曲

久松義恭 42 回生

写真

糸川真木彦 39 回生



佐々木明日香 40 回生
イラスト展

大人のためのコンサート Vol.3 より

鎌高生、OBOG の皆様
多くのみなさまのご来場を
お待ちしております！

=ブログ=
<http://ameblo.jp/belle-feu>

=お問合せ=
Tel. 090-4927-6099
Fax 0466-36-1392
e-mail bee_fee_eee@aol.jp



同窓会・クラス会を開催しています

米寿のクラス会

(S15年卒)

大手 良枝

朝起きたら晴天でした。昨日の大雨は何処へ。5月16日、今日は五年振りのクラス会です。12時「かいひん荘」集合。バス、江の電を乗りついで由比ヶ浜で下車、徒歩一分で玄関。入ったから皆さんの笑顔、最後から2番目でした。

大正十二年・十三年生れの8名出席。

海に近いお庭がよく手入されて、ゆったりとした気分で板前さん御自慢のお料理を頂き乍ら懐かしい持参の古い写真を眺め昔話に花を咲かせた楽しい一時で、三時半になりました。

耳の遠い方は近くに寄って大きな声でお話をする人、隣り同士でお話をしないと聴こえない方、また杖持参の方々、でも皆さんとても元気でした。88歳に



クラス会 かいひん荘

は見えない楽しい会合でした。来年も是非との皆さんの希望があり、また「かいひん荘」でお逢いしましょうと約束、解散しました。

あこがれの中国留学

17回生 (S41年卒)

村田 厚子

4年前、「万里の長城マラソン



万里の長城マラソン

ン」に参加した後、山村を一人旅しました。今までいろんな国を「英語」で歩いていたので中国語ができなくても何とかなると思ってきました。とんでもなかったです。手ぶり、身振りで四苦八苦。出租(タクシー)、住宿でポッタくられてしまった。落ち込んでいたところ親切な民宿のご夫婦に巡り会い手作りのほかほか包子をばくとくと身体も心もポカポカになった。帰国してすぐ公民館の「中国語クラス」に入りラジオ講座も聞き始めました。一年後、再度「長上マラソン」に参加し、あ

<p>株式会社 ミルススペース 代表取締役 田中 正明 (昭和36年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢973番地 相模プラザ第3ビル6階 TEL:0466-23-3012 FAX:0466-26-6509</p>	<p>ミマツ音響株式会社 代表取締役会長 山本 泰弘 (昭和30年卒) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-7-3 TEL:03-3253-6483 FAX:03-3253-9080</p>
<p>株式会社 ケンジ 会長 飯嶋 勝男 (昭和38年卒) 〒251-0024 藤沢市鶴沼橋1-17-5 TEL:0466-26-0309 FAX:0466-27-1322</p>	<p>日本精麦株式会社 代表取締役 田中 賢三 (昭和37年卒) 〒253-0114 高座郡寒川町田端1590-5 TEL:0467-72-3620 FAX:0467-74-2002</p>
<p>株式会社 ウエルカム 代表取締役 増田 隆之 (昭和40年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢559 角若松ビル TEL:0466-25-3005 FAX:0466-25-3006</p>	<p>江島神社 宮司 相原 園彦 (昭和39年卒) 〒251-0032 藤沢市片瀬4-14-21 TEL:0466-22-4324 FAX:0466-22-4324</p>

の民宿を訪ねました。

嬉しかったけど、私の漢語はまったく通じずがっかり。さらに勉強し三度目のチャレンジも10パーセントUPしたくらい。高齢だから進歩も亀のように慢(ゆっくり)なのでしようね。そこで一大決心をして「留学」を決めたのです。中国が糠床で私がきゅうりのイメージ。どっぷり漬かって早く食べごろになりたつたのです。とりあえず3ヶ月「大連交通大学」に入学しました。

そこで、初日からびっくりの連続。七十人の留学生のうち日本人50人。皆さん60歳くらい。3〜10年も住み続けている先輩もざらです。日本でも老後を孫たちの囲まれて過ごすより退職金や年金で学びながら好きなことをやっている人ばかりです。シルクロードやウルムチに出かけ「もう思い残す事はない」なんて中国朋友とおしゃべりしている光景を目にするとうらやましい限りです。

一日のスタートは6時起床し

でグラウンドに行く。すでに学生

たちはサッカーボールをけている。キャンパスは一般開放されているので市民たちはおしゃべりしながらウォーキング。私も軽くジョギング。でも要注意。この国の人々は所かまわず痰を吐くので「グアー」とのどがなったらさっとよけます。部屋に戻ったら早飯、8時の授業開始までパラパラ課本をめくる。これから12時までの4時間、毎日、会話、ヒアリング、書き取りテストと続くのです。いつも4時間目になると集中力が切れてボーとし、終わりのベルが鳴るとホッ。

60歳過ぎて学生になることはとても体力がいることが分かりました。午後はフリーなのでピョンポン、習字、街をぶらぶらしながら学んだばかりのたどたどしい会話で面白い物です。「多少銭?」「太貴了、便宜一点」など、外でも勉強。

3ヶ月も終わりに近づくころには多くの朋友が別れを惜しんでくれました。図書館の守衛さ

ん、魚市場の小姐、プールの監視人、ピンポン仲間たちに

「次はいつ来るの?」と聞かれて返事に困りました。来たいはやまやまだけど…。日本人には中国嫌が多いけれどそれは多分に偏見です。日本人よりも親しみやすいです。「二回生、二回熟」という諺があります。初めはとっつきにくいけど2回目はずぐ溶け込むという意味です。ほんとに言い得て妙もっともっとと上手になって日中間の友好のボランティアをするのが夢です。



大連交通大学 キャンパス

<p>鎌倉 山田屋 岡本 治男 (昭和41年卒) 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下3-8-29 TEL: 0467-22-0338 FAX: 0467-24-8497 MAIL: mail@kamakura-yamadaya.jp http://www1.kamakuranet.ne.jp/kamakura-yamadaya</p>	<p>株式会社 ワイエスシー 代表取締役 小泉 稔 (昭和40年卒) 〒220-6213 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC13F TEL: 045-227-5711 FAX: 045-227-5747</p>
<p>株式会社 ポントロレーディング 代表取締役 程嶋 幸男 (昭和41年卒) 〒231-0023 横浜市中区山下町25-1 TEL: 045-900-2200 FAX: 045-640-4729</p>	<p>総合建設 大沢組 代表 大沢 廣和 (昭和41年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢3-2-14 TEL: 0466-22-2225 FAX: 0466-22-3119</p>
<p>株式会社 齋藤商店 代表取締役 齋藤 光久 (昭和42年卒) 〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸3-1-7 TEL: 0466-36-3188 FAX: 0466-33-3380</p>	<p>理事長・園長 山田 誠一 (昭和41年卒) 学校法人 北鎌倉学園 おおぞら幼稚園 鎌倉市大船5-10-35 TEL: 0467-46-2932 FAX: 0467-46-2948 プレップ おおぞら保育園 (定員: 0歳9名 1歳12名 2歳24名) 鎌倉市大船4-21-1 TEL: 0467-46-1071 FAX: 0467-46-1070</p>

中央アジア・ウズベキスタンでのプラント建設

17 回生 (S41 年卒)

川井 康郎

高校時代に、海外現場で現地の人々と共に汗を流す日本人技術者の写真を目にしたことがきっかけでプラント建設業界に飛び込むことになりました。これまで、アルジェリア、ロシア、インドネシア、ウズベキスタン等の建設地に長期滞在してきました。石油やガスといった原料立地のプラントが主のため、どうしても都会からは離れた僻地が中心となります。1992年からは中央アジアのウズベキスタンで連続して二つのプロジェクトに携わる機会があり、約10年間にわたってこの国と深く関わることになりました。

ウズベキスタンとは？

ウズベキスタン共和国といっても、ほとんどの日本人にとってはその地理的な場所さえ定か

ではない馴染みの薄い国でしょう。近年はサッカーのワールドカップ予選やアジア杯でたびたび対戦する国として知られているかもしれませんが。しかしながら、プラント建設業界に身を置く者にとっては中央アジア諸国、とりわけ、このウズベキスタンと隣国のカザフスタン、トルクメニスタンは資源の豊富さと潜在的将来性において大いにビジネスの興味を惹きたてられる国々です。

さて、ウズベキスタンについて簡単に紹介しますと、人口は約2千8百万人(2012年)でウズベク人が78パーセントを占め、残りをタタール系、ロシア系、キルギス系、タジク(イラン)系、朝鮮系等といった少数民族が分け合います。この地域の文化の源流を遡れば紀元前に文明を開花させたソグド人に到ります。モンゴル、アラブ等の多くの外部民族がこの地を交互に支配する中で、最終的に農業を基盤として定着したトルコ

系民族の一部がウズベク人で、14世紀にはほぼ現在の国家の骨格を創ったのは英雄、アミル・チムールだと言われています。チムール帝国の首都、サマルカンドは今もその時代の繁栄の跡をとどめています。首都タシケントは人口220万人を超える中央アジア最大の都市です。1968年の大地震によって市街地のほとんどが壊滅しましたが、旧ソ連による復興とインフラ整備が進み、今日では数路線の地下鉄も有する近代的大都市です。



サマルカンドの目抜き通り

<p>株式会社 イシイフーツ 代表取締役 石井 英樹 (昭和43年卒) 〒251-0047 藤沢市辻堂1-8-29 TEL: 0466-34-7072 FAX: 0466-34-7072</p>	<p>フライスター株式会社 代表取締役 関 全男 (昭和43年卒) 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-6-1 TEL: 045-470-0330 FAX: 045-474-3768</p>
<p>旬・食・菜・魚の店「鮮」 斉藤 正二郎 (昭和44年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-4-3 フジサワ23ビル2階 TEL/FAX: 0466-25-8418</p>	<p>株式会社鎌倉設計工房 代表取締役 藤本 幸充 (昭和44年卒) 〒220-0023 横浜市西区平沼1-40-9-1015 TEL: 045-312-6604 FAX: 045-316-1453</p>
<p>鈴木運輸株式会社 代表取締役 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-13-33 TEL: 0466-34-1118 FAX: 0466-34-1119</p>	<p>ダスキン メリーメイド藤沢南店 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-12-33 フリーダイヤル: 0120-460-770</p>

フェルガナ・プロジェクト

私が最初に携わったプロジェクトは、タシケントから東に3百キロほど離れたフェルガナ盆地の中心に位置していました。北を天山山脈、南をパミール高原に挟まれた肥沃な農業地帯です。シルクロードの歴史に詳しい人ならば、紀元前1400年に前漢の武帝によって西国に派遣された張騫が辿り着いた汗血馬の産地として有名です。

外界からはほとんど隔絶されたような地域での石油精製プラント建設プロジェクト（設計から試運転完了までのいわゆるターンキー契約）は機器資材の輸送や建設で多くの困難が予想されましたが、幸い、約3年間のプロジェクトはほぼ順調に進み、成功裡に客先に引き渡すことが出来ました。

シルタン・プロジェクト

続いて携わったのはウズベキスタンの中央部土漠地帯に、天然ガスを原料としてエチレンを生産する大型化学プラントの建

設プロジェクトでした。先のフェルガナとは同じ国とは思えないほど過酷な自然条件と人里から隔離された環境の中で建設は進みました。ドイツ、イタリア、日本の各企業による国際コンソーシアム運営の難しさもありました。滞在中の最大の楽しみは、たまの休日に車で4時間ほどのサマルカンドやブハラといったシルクロードの古都を訪ねることでした。多くの困難と障害を乗り越えて最終的にプラントは完成し、無事に客先に引き渡すことが出来ました。



シルタン現場に向かう土漠の一本道

ウズベク人

街を歩いているとほとんど日本人と見間違えるような顔によく出会います。同じアジア人ということに加えて、農耕民族ゆえの穏やかな気性と礼儀正しさ、人なつっこさと暖かいホスピタリティによって、彼らから威圧感や緊張感を感じることはほとんどありません。

長期滞在者たちはしばしば現地スタッフやその親族たちの結婚式や誕生パーティーにも呼ばれ、すっかりその社会に溶け込んでいました。

ウズベキスタンの四季

ウズベキスタンの東半分、フェルガナ盆地や首都タシケント周辺は地理的な条件によって四季それぞれの美しさと味覚を楽しむことが出来ます。冬、空気の清んだ日に眺める天山とパミールの峰々の美しさは格別です。春、街の大通りのほとんどは緑のトンネルとなります。夏、気温は高いのですが木陰や窓を開け放った室内には爽やかな乾

<p>しらす料理 かきや旅館 (腰越電車通り) 代表取締役 戸倉 孝二 (昭和50年卒) 〒248-0033 藤沢市片瀬海岸3-7-24 http://ishonan.com/kakiya TEL: 0467-32-4828 FAX: 0467-32-4180</p>	<p>渡辺啓二税理士事務所 税理士 渡辺 啓二 (昭和46年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸3-19-20 TEL: 0466-21-8150 FAX: 0466-21-8151</p>
<p>株式会社 水落建設 代表取締役 水落 雄一 (昭和51年卒) 〒251-0015 藤沢市川名801 TEL: 0466-26-1601 FAX: 0466-23-6019</p>	<p>住友生命保険相互会社 湘南支社 湘南栄光支部 支部長 富田 朝子 (昭和50年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢86番地 住友生命ビル5F TEL: 0466-27-6935 FAX: 0466-27-1305 URL: asako.811@sumisei.jp</p>
<p>株式会社 湘南セールスプロモーション 櫻井 淳 青野 久美 (昭和55年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-8-10-101 TEL: 0466-25-1035 http://shonansp.com</p>	<p>有限会社 立花屋 代表取締役 叢 秀樹 (昭和51年卒) 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-3 ダイヤモンドビル内 TEL: 0466-22-2373 FAX: 0466-22-2373</p>

いた風が通り過ぎます。秋には日本と同様に森林や街路樹が橙色に染まります。果物は初夏の苺とさくらんぼに始まり、夏のメロンと西瓜、秋の柿、冬の蜜柑がバザールに山積みされ、ほとんど一年中季節の味には事欠きません。



タシケントの子供たち

バザール

ウズベキスタンに限らず中央アジアで最もエキゾチックな興味を惹かれる場所といえればバザール（青空市場）ではないでしょうか？ バザールはタシケントのような大都市から街道沿いの集落にいたるまでその規模は様々ですが、いずれも場所代の支払いに

よって小面積を確保できる自由小売市場で、旧ソ連時代にも消えることのなかった中央アジアの歴史に深く根ざした商業形態です。そこで扱われる商品は野菜、穀物、果物、肉類等の食料品から衣類、雑貨等の日用品にいたるまでまさに何でもありです。日用品は主に中国、イラン、トルコから入ってくるものが多く、現在もこの地がシルクロードの中心地であることを実感させてくれます。バザールの賑わいとそこに集まる人々の多様性を見ているだけでも長時間飽きることはありません。

シルクロード

多くの日本人にとって「サマルカンド」や「ブハラ」という地名の響きは古代シルクロードのイメージと重なって強い郷愁を呼び起こすのではないのでしょうか。かつて、この地を経由して多くの文化が日本に持ち込まれてきました。東西文化の結節点として、この地はこれまで多くを語られてきました。しかしながら、実際にこの地に長らく留まりながら、改めて歴史を振り返ってみると、中央アジアの諸オアシス都市は決して単なるシルクロードの一通過点ではなく、この地を中心とした確固たる歴史と文化があることに気づきます。

それは英雄チムール、科学者ウイルベグ、民族詩人ナボイといった歴史上の人々への尊敬と畏敬の念と合わせて現在のウズベクの人々の中に誇りとして根づいています。

サマルカンドは幾多の繁栄と滅亡を繰り返しながら、チムールの時代にその首都としての地位を確立し、現在にいたるまでその栄華の跡を留めていることは前にも述べました。ブハラやヒヴァの旧市街は世界遺産として、その保存に

力が入れられています。ウズベキ



ブハラの旧市街一本道

<p>セントラルモータープール 代表 田中 重光 (昭和61年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-11-13 TEL: 0466-28-7311</p>	<p>有限会社 国分屋 代表取締役 飯田 圭太 (昭和60年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤728番地の7 http://www.kokubuya.com TEL: 0466-87-8832 FAX: 0466-87-8836</p>
<p>株式会社 重田 工芸 代表取締役 重田 博章 (平成元年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤298-6 TEL: 0466-88-6880 http://www.shigeta-kougei.com</p>	<p>市島徹社会保険労務士事務所 代表 市島 徹 (昭和62年卒) 〒220-0011 横浜西区高島 2-3-22 横浜OTビル6F A.L.C.S.総合事務所内 TEL: 045-451-6211 FAX: 045-451-6231 http://www.ichijima-labor.com/</p>

スタンを訪れる機会がありましたら
ぜひ訪ねていただきたいものです。

終わりに

本稿を執筆中にアルジェリアでの悲劇的事件の報に接しました。同じプラント業界に身を置き、かつて同国にも長期滞在した者としては他人事ではありませんでした。この業界はリスクが避けられませんが、私のウズベキスタン滞在中にも、すぐ傍のキルギス山中での日本人鉱山技術者誘拐事件、近隣の軍事施設を発進基地とした多国籍軍によるアフガン侵攻などがあり、都度、セキュリティ対応を強化してきました。しかし、相手の攻撃が意図的である場合にはとても防ぎきれません。軍事力での報復がテロの根絶には却って逆効果であることを痛感しています。

とりとめの無い文章になってしまいました。歴史と将来性を併せ持ったこの国にビジネスや観光で訪れる日本人はますます多くなると思われまます。

読者の皆さんも、ぜひ一度、シ

ルクロードの古都をお訪ねください。この国の文化や人々への理解を深める中で日ウ両国の経済と友好関係がますます発展することを祈りたいと思います。

獣医師の診たモンゴル国

草原に生きる

17回生 (S41年卒)

實方 剛

同窓会員の皆様、サインバイノ。学生時代の私を知る人は、私の原稿を読んで、あれ？ 間違いでは？ と思う方がほとんどではないでしょうか？ いつも危ない成績で、しかもサッカーボールしか蹴っていなかった私が動物のお医者さんの大学教官をしています。世の中予期せぬことが起こり、楽しいですね。

高校卒業後、鳥取大学農学部獣医学科に入学。馬術部を立ち上げ、その後、獣医学博士（北海道大学）を取得。鳥取大学ではヒトと動物の感染症に関する研究と講義を行い、この3月に定年退職し、動物専

門学校で再び教壇に立つ予定です。

仕事半ばで黄熱病に倒れた野口英世博士の研究室（ガーナ大学内）を訪ねた時の感動・感激は、その後の私の感染症対策に対する考え方を一変させました。その後、パストール研究所、コッホ研究所を訪ねる機会に恵まれ、両博士の感染症に対する姿勢を知り、医学分野での途上国支援に力を注ぐ決意をしました。

途上国における感染症の原因究明とその予防対策のために試験管の中の研究だけでなく、国内外における医療現場での調査活動に積極的に参加しました。JICAなどの要請でネパール、インドネシア、バングラデイスユおよびモンゴル国での家畜やヒトの胃腸炎対策やガーナ国での小児麻痺の撲滅作戦へ参加し、何度も生死をさま迷ってきました。そのたび毎に、ヒトの生命力は強いものだと感じたりしております。

JICAの「モンゴル国における家畜診断技術改良プロジェクト」に参加して以来、2001年以降はモンゴル国における動物と

 車検 修理 钣金 保険 自動車販売
株式会社 ヤベ自動車工業
 〒252-0815 藤沢市石川6-1-1 (イーヨーカ堂湘南台店並び)
 TEL: 0466-87-5252 見積り、代車、引取 無料

株式会社 **イソダ**
<http://www.isoda.co.jp>
 〒248-0033 鎌倉市腰越4-9-7
 TEL: 0467-31-9246 FAX: 0467-32-8481

藤沢市役所 日坂会
 180人の会員が元気ががんばっています！

 **市川宝石店** **ICHIKAWA**
 価値ある逸品もかけがえのない一品も
 ⇒リフォーム&リペアお任せください
 〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-1フジサワ名店ビル2F tel:0466-26-3870 fax:0466-26-8390



野生復帰したモウコノウマ

人のちから感染症対策に特に興味を持ち、モンゴル国に没頭しています。

2004年にモンゴル国立農業大学から招聘教授、2006年にモンゴル健康科学大学から客員教授の称号を授与していただいたのを機会に、ウランバートル人、遊牧民、競馬関係者、野生動物生態関係者などのたくさん仲間ができ、特に遊牧民からいただいた2頭のモウコノウマは私の帰りを待っています。

この頃から野外調査にはランドクルーザーを使うだけでなく、遊牧民のゲルに宿泊し、遊

牧民と一緒に寝起きし、馬に乗る、家畜を捕獲し、馬の速度で感染症の現場を見ることの出来る獣医師になりました。

モンゴルでの活動のもう一つはモウコノウマの野生復帰プロジェクトへの参加です。モウコノウマは地球上で最後まで残った野生馬ですが、1986年にモンゴルの西部の中国との国境近くで目撃されたのが最後で、地球上から絶滅しました。幸いなことにこのウマは絶滅する以前にヨーロッパの動物園に運ばれ、わずかが生き残っていました。

モウコノウマは「動物園ではなく、広大な自然環境でヒトの手を加えずに生きるべきだ！」と言うモンゴル人の願いが叶い、1992年からオランダやチェコスロバキアなどの動物園から3ヶ所のモンゴル野生保護地域にモウコノウマが輸送され、野生復帰化を行っています。このプロジェクトはモウコノウマが怪我をしても治療行為などは一切せず、オオカミの被害にあっても特別な対策はしないで



黄金色独占

動物の本能で野生復帰させるものです。20年間でヒトが捕獲したのは、近親交配を避けるために3頭の雄馬を1300 km離れた他の地域に空輸した時だけ。現在は、3ヶ所で合計400頭になり、順調に増えています。

是非、機会がありましたらモンゴルの大自然の中で野生化したモウコノウマに触れてください。

モンゴルでの貴重な体験を記録した写真展「獣医師の診たモンゴル国〜草原に生きる〜」を鳥取市内のギャラリーと鳥取大学で開催しました。その中か



凍鼻息

ら何枚かを紹介させていただきますので、モンゴルの魅力を感じていただければ幸いです。

又、新しく言葉の市民権を得てのさばっている語や話し方もあると思うし反対に殆ど使われなくなった語も多い。二つ三つ印象に残るものを挙げておくと、便所↓トイレ、アベック↓ペア又はカッパル、婦人↓女性など。

科学的な用語も一般的によく使われるものも増えて来ている。生命科学(生物学)の用語であった「DNA」・「ハイブリッド」・「進化」などがある。このうちハイブリッドはもともと「雑種



技

という意であろう。つまり車の場合ガソリンと電気というように二つの動力源をこう称したものだと思う。進化という言葉もずい分と手軽に使われてるようだが少なくとも十万年単位では見ることでできない現象であり実験室で簡単に証明できるものでもない。

先日若い人と話していて頁という字を示すと迷うことなくページと読んだのはびっくりした。

よく言われているように携帯のメールやパソコンの使用では言葉(漢字)は憶えないし、車に乗ればカーナビの教えてくれ



気まま(野生の口バ)

た通り進めば道に迷う心配もないわけで人がモノを憶えたり考えたりできなくても一向に困らないという状況が作り出されつつある。年寄りのトリコシ苦労だろうが人間社会の「進化」って何だろうかと考えさせられてしまう。

赤木圭一郎先輩のこと

33 回生 (S 57 年卒)

佐々 義也

みなさんは、赤木圭一郎を知っていますか？ 彼は昭和の高度成長期に映画俳優として



デビューし、21才の若さでスクリーンから天国へ駆け抜けて行った映画スターです。

最近話題になった穴戸錠と拳銃をドンパチして、人気がありました。昭和36年、撮影所のお昼休みに娯楽用ゴーカートを運転し、カーブを曲がれず、スタジオ扉に頭を打ち一週間後に亡くなりました。でも私は彼が亡くなった時に、まだ生まれていません(笑)。なぜ知ったか、赤木の担任だった彼の語りべ、レジェンド金指隆先生が私の高校時代におられたからです。

黒板に赤木の話をして下さいと板書すると、倫社の授業そっちのけで、俳優オーディションに合格した時の話。裕○郎より断然スターだったとか、いつも熱く語って下さいました。私は

赤木に興味を持ち、彼の代表作「霧笛が俺を呼んでいる」を見て虜になってしまいました。

演技は粗削りですが、男も惚れるソース顔の影を持ったイケメンでした。先生は、彼が卒業後も、俳優かぶれせず謙虚さを常に持ちながら、先生と交流されていた話を聞き、ますます尊敬しました。ある意味これが倫社の授業でした。

彼を偲ぶファンクラブに入会し、イベントで先生をご招待して、お話を聞いたりして、お世話になりました。私の会社は今度「霧笛」を放送します。

彼はスクリーンでいつも輝いています。私は今、鎌高アメフト部のスタッフをしています。今度は私が赤木の語りべです。



スポーツ界で活躍する卒業生

40回生（S64年卒）

アメリカンフットボール部

ヘッドコーチ

町野 英介

今回は日本のアメリカンフットボール界を沸かせる二人の卒業生を紹介します。

一人目は「シミケン」こと清水謙選手（98年卒）です。

2003年より10年間ずっと日本代表として活躍、世界選手権に3回出場し、所属するオービックシーガルズで三連覇を含む4度日本一に輝き、幾度もリーグ優秀選手として表彰されるなど彼の実績は枚挙に暇がありません。

顎をツンと上げ敵を睥睨しながら闊歩する彼にひとたびボールが渡ればヒラリヒラリとダンスのようなステップで相手をおかわし一気に置き去りにする。そして咆哮しスタンドとサイドラインを盛り上げる。その姿はプレーというよりも「パ

フォーマンス」と呼ぶに相応しいものです。髪を剃り上げた風貌は一見求道士のようにであり普段は読書を好む寡黙な男であるというゲーム中の激しさとのギャップもファンを惹きつけるでしょう。



彼の功績もあってアメフト界では「鎌高出身選手」や「シミケン」というイメージが定着していました。しかし昨年そのイメージを一新する新星が大学フットボール界をにぎわしました。

2011年卒の近藤渥（あるう）です。

昨年攻撃の不振にあえぐ名門・法政大学に彗星のごとく現れ二年生ながらチームを大学選手権決勝・甲子園ボウルに導く活躍を見せました。試合には敗れたものの大学の王者の関西学院守備陣をパスで切り裂き敢闘賞を受賞しました。

甲子園ボウルに出場した鎌高出身選手はこれまで何人かいますが攻撃の司令塔QB（クォーターバック）として出場した選手は近藤が初めてです。

彼の魅力はフィールド上のすべてを把握しているかのような



冷静さとそれを生かす正確なパスでしょう。そして誰よりも楽しそうにプレーをします。

今年まだ三年生。対戦チームが警戒分析する今年こそ真価を問われるシーズンとなるでしょう。しかしながらそのプレッシャーすら楽しみに変えるのが近藤の良さでもあります。

日本を代表するプレーヤーとして34歳になる今なお成長を続けるシーガルズ83番清水謙と今年法政大学エース番号4番を背負う近藤渥。ふたりの選手の活躍に今後ご期待ください。



奪われた手足

カンボジア・地雷とともに生きる人々

昨年12月、写真展「奪われた手足〜カンボジア・地雷とともに生きる人々〜」を開催されたカメラマンの糸川真木彦氏（昭和63年卒）の活動をご紹介します。

糸川氏は1997年から、ライフワークとしてアジアで最も地雷被害の深刻な国カンボジアに足を運び、被害者の撮影をしています。

以下に数点の写真を掲載し、氏の説明を転載させていただきます。

地雷はたいへん残酷な兵器です。そもその考え方として、あえて火薬の量を抑え、命を奪うことよりも「手足をもぎ取ってかつ生かしておくこと」に主眼がおかれていると言われています。その方が、結果的に敵に与える損害が大きいからです。手足をもぎ取られた者は想



像を絶する苦痛を味わい、また後には障害者としての生活を余儀なくされ、国や地域によっては偏見により差別の目に晒されることもあり。また、現実にはその場で亡くなってしまいう人もいれば、病院に搬送する手段が無く力尽きてしまう人もあり、生き残った被害者の背後には同数か、あるいはそれ以上の死者がいるとも言われています。

「対人地雷の使用、貯蔵、生産および移譲の禁止並びに廃棄に関する条約（オタワ条約）」

が締結されて15年、新たな地雷の使用は大きく減り、地雷を巡る状況はだいぶ良くなったと言われています。しかしながら、当然ではあります。ひとたび失われた命や手足はもう二度と戻ることはありません。生き残った被害者たちは、手、足、あるいは視力を奪われたまま、「日常」という、長い時間を生きていかなければなりません。

地雷はカンボジアだけに特有の問題ではありません。これまでに世界の50を超える国や地域が地雷を生産したことがあり、そこにはいわゆる先進国と呼ばれる国々、そして日本も名を連ねています。そして、地雷が実際に使用された国や地域は70以上を数えます。地雷は我々人間に通底する残酷性が創り出しました兵器なのだと思います。

その、自分たちでつくり出した地雷によって、我々はこれまで無数の人命を奪い、あるいは身体の一部を吹き飛ばし、あまたの人生や家庭や社会を壊してきました。実に空虚な営みです。我々人間はいつになったらこの空しい営みの循環から抜け出すことができるのか。カンボジアの地雷被害者に接するにつけ、常に自らがそう問われているように感じます。

部活動報告

●●運動部●●

■アメリカンフットボール部

昨年度は実績を挙げることができませんでしたでしたが、今年度は慶應戦で雪辱を果たし、「関東大会での勝利」を目標に、日々練習に励んでいます。先輩方が築き上げてくださったFAKERSの名に恥じぬよう全力でプレーしていきます。応援よろしくお願いします。



■弓道部

現在3年生9名、2年生14名に新入生が加わって活動しています。夏には卒業生の方々が多くいらっしやっていたですが、大変ありがたかったです。昨年は大会での成績が振るいませんでしたが、審査での合

格率が上昇いたしました。新しい流れと先輩達から引き継いだ伝統の流れを合わせて、より美しい弓道を部として目指していきたいです。



■剣道部

3年生11人、2年生8人、新入生で活動しています。師範の津田辰雄先生、顧問の中田圭介先生のご指導の下に関東大会出場を目標に掲げて日々稽古に励んでいます。

活動の様子ですが、稽古は厳しく、信頼できる仲間恵まれ、毎日が充実しています。OB、OGの方々はもちろん、先生や保護者の皆様のご支援のおかげで、昨年度は女子が県ベスト16、湘南地区大会女子3位、個人入賞を勝ち取ることができました。この場を借りて、お礼申し上げます。この感謝の気持ちを忘れず、

今年こそ関東大会出場を達成するべく、活動してまいりたいと思います。今後とも鎌倉高校剣道部へのご理解、ご協力をよろしく願っています。



■女子硬式テニス部

25人で私たちは楽しく、お互いを高めながら活動しています。昨年度の地区大会ではベスト4に入り、部員の自信につながりました。それからよりいっそう練習に励んでいます。顧問の先生やコーチ、卒業生の方々、地域の方々など、周囲の人に恵まれているので、感謝の気持ちを忘れずに、また、悔いを残さないように県大会を全力で頑張ります。応援よろしく願っています。

■男子硬式テニス部

僕たちは先輩方が残した県大会ベスト32を超えることを目標に練習しています。昨年は

湘南地区夏季大会ダブルス準優勝、冬季大会ダブルス優勝と実績が出ているので、今年も結果が出ることを確信しています。これからも先輩方やコーチの方々、顧問の先生方の力をお借りして、これからも精進していきます。



■サッカー部

昨年はインターハイ予選、選手権予選会共に2次予選に進出したものの、目標の神奈川代表にはなれませんでした。今年こそ神奈川代表になります。自分たちのチームは去年の先輩より上手くはないけれど、気合いだけは負けていません。元気とチーム



ワークで日々の練習を盛り上げて、1日1日を大事にしています。小柴先生を全国大会に連れて行き、泣かせてみます。

■水泳部

水泳部は部員同士で教え合うことで



技術を磨き、冬もトレーニングや走り込みをして体力づくりにしています。県高校水泳大会では女子個人種目で入賞し、女子メドレーリレー、女子フリーリレーは共に6位入賞、女子総合8位になりました。今年も男女学年問わず、仲良く頑張っています。

■スキー山岳部

昨年は夏の合宿で赤岳に、月に一度のペースで鍋割山、仏果山、檜洞丸、金時山、川乗山に登りました。また、冬はスキーに2度行きました。今年には新入生の勧誘をしっかりと

行って、部員をさらに増やして活気のある部にしていきます。また、クライミングなど新しいことにも挑戦して、部の活動の幅を広げていきたいです。

■体操部



体操部は3年生と新入生で活動しています。少ない人数ですが、関東大会予選会に向けて頑張っています。少人数ですが、各校との合同練習や先輩方が指導に来てくださることが励みになっています。是非練習の様子を見に来てください。

■卓球部



卓球部は平日は16時～18時30分まで、土曜日は9時～12時30分まで練習しています。昨年の湘南地区冬季大会においては男子団体戦で7位となり、

春からの関東大会地区予選でのシード権を獲得しました。部員数は6名と新入生で、人数は少ないですがお互いに高め合い、日々頑張っています。応援よろしくお願ひします。

■ダンス部



野球応援のためのチアや新人大会に向けて練習しています。今年も笑顔で応援できるように一生懸命練習します。コンクールで入賞することも今年も目標です。みんなで協力し、一人一人が自分の役割を果たして良い作品を作っていきます。また、一年間を通して何事にも精一杯取り組み、常に明るい雰囲気での部活にしたいです。

■バドミントン部

私たちバドミントン部は3年生7人、2年生16人、新入生で活動しています。昨年は関東大会地区予選会で男子団体6位、女子団体準優勝で男女ともに県大会に出場し、女子は県大会6位となり、目標としている関東大会まであと一歩のところまで近づきました。新人戦や冬季大会でも成長が目に見える成績を上げることができました。

今年は昨年よりも一歩上の成績を取れるように毎日頑張っています！



■女子バレーボール部

3年生4人、2年生3人、新入生とマネージャーで、毎日活動しています。少人数ではありますが、外部コーチに来ていただき、苦手をひとつひ

とつ克服していつています。昨年は県大会出場を目標としていましたが、惜しくもあと一步のところまで届かず、今は6月に行われるインターハイ予選会に向けて日々練習しています。鎌高生としてバレーボールができる「今」を大切に、引退まで頑張りたいと思っています。



■男子バレーボール部

現在5名で活動しています。現状は非常に人数が少ないですが、一人一人の技術を高めるとともに、新入部員をいつ受け入れてもチーム作りが出来るように日々切磋琢磨しています。今年の目標は県大会ベスト16以上です。この目標に一步でも近づけるように僕ら一同精一杯頑張っていきま

すので、応援よろしくお願ひします。

■女子ハンドボール部

ほぼ毎日、放課後も休日も活発に活動しています。3月からコートが改装されてとてもきれいになり、活動しやすい環境になりました。練習がづらいときもありますが、みなで声を出して励まし合って頑張っています。試合ではあまりよい成績を残せていないのですが、3年生がいるこのチームでハンドボールが出来るのも残りわずかしかなないので、最後まで楽しくハンドボールが出来たらよいと思っています。



■男子ハンドボール部

僕たちは3年生6人、2年生13人、マネージャー1人と新入生で、コーチや先輩の方々に指導していただいて活動し

ています。昨年のインターハイ予選では惜しくも2回戦突破までで終わってしまったので、今年はその先の3回戦突破を目標にして頑張っています。部として未熟な点がありますが、精一杯頑張るので、応援よろしくお願ひします。

■陸上競技部

部員は決して多くはありませんが、ひとり一人が目的を持って日々考えて練習に励んでいます。高校総体予選会を目標にして頑張っています。合宿は新潟で行われる合同合宿に参加しているので、普段の練習では味わえない緊張感や刺激を受けて大きく成長する場になっています。これからも新人戦やクロカンなどの大会を通して成長していけるよう頑張るので、応援よろしくお願ひします。



●●文化部●●

■KBS(放送部)

「○月△日□曜日、お昼の放送を始めます。」この言葉が、私たちの主な活動であるKBS RADIOの始まりの合図です。これは、63期の先輩が築いてくださった、KBSの顔とも言える番組です。昨年は体育祭の進行やBGM、そして総合文化祭への出場など、自らを表現する場を多く設けられた一年でした。

今年は活躍の場をより広げ、さまざまな活動に励むとともに、多くの鎌高生のランチタイムを彩れるように楽しく放送していきたいと思っています。

■茶道部

春と秋の大佛次郎茶亭公開、大仏慈善茶会、淡交会主催の鎌倉芸術館でのお茶会に参加しています。加えて中庭の満



開の桜の木の下で野点をしたり、小文化祭でお茶会をして友達や先生方にお茶を差し上げることができ、とても楽しかったです。

今は部員がとても少ないので、1年生をたくさん入れてしっかりお手前を教えられるよう頑張ります。今年は文化祭が9月にあるので、もしお越しただけたら是非茶道部のお茶会にお立ち寄りください。部員一同、お待ちしております。



■室内楽部

部員4名と少ないですが、楽しく活動しています。でも、みな個性豊かで、いつも騒いで賑やかにしているので少なくてもしっかりしています。今年も文化祭なので、部員集めと共に頑張ります！普段は地域の病院や老人ホームなどを訪問して、演奏させていた

いています。卒業生の皆さま、応援よろしく願います。

■吹奏楽部

私たち吹奏楽部は3年生13名、2年生13名に新入生を迎えて、元気に活動しています。



小坂宏之先生のもと「聴いている人も演奏している人も感動できる演奏」を目標に日々練習を積み重ねています。去年の県南アンサンブルコンテストでは銅賞、神奈川県アンサンブルコンテストではSax四重奏が金賞を受賞しました。また、夏の野球応援や地域のお祭りにも積極的に参加しています。いつも明るく楽しい部活です。これから吹奏楽部をよりよく願います。



■美術部

昨年度は一年生二年生の共同制作や個人作品を高校美術展に出品しました。また、体育祭では三年生の美術部員がマスコット係として中心になり、大いに活躍しました。小文化祭に向けては短い期間の中で個性あふれる作品をそれぞれ制作し、展示することができました。今年も文化祭に向けて、作品を観てくださる人に絵を描くことの楽しさが伝わるよう、よりいっそう力を入れて取り組めます。これからも美術部の応援をよろしく願います。



●●●同好会

■科学研究会

科学現象を究明し、論文やポスターにまとめて発表してい

るのが、この科学研究会です。

昨年まで課外活動であったSPPが、今年同好会として新たに発足しました。現在14名が所属し、おもに実習とその発表を京都大学を始めさまざまな協力の下に行っています。昨年は金環日食観測コンテスト第3位、KAIT・都立産業技術研究センターでのポスター発表を行いました。今年も新たに研究員とともに、昨年以上に活発な研究活動を行っていきたいと思います。



■合唱同好会 (glee club)

今年卒業された先輩方とともに立ち上げたglee clubは活動を始めて1年が過ぎました。海外ドラマ「glee」をモデルに、歌って踊る合唱部をコンセプトとしています。これまでに昼休みや後夜祭で計5回の公演を行いました。

■日本語の歌を歌う会(日歌会)
 同好会ながらたくさんの方の生徒が集まり、大所帯になりました。どのバンドも週に一回しか練習できないですが、ライブを盛んに行っています。他校との合同ライブでは仲間が増え、音楽の輪が広がっていくのが感じられました。最近では曲のコピーにとどまらず、自分たちで楽曲を作って演奏する、いわゆる「オリジナル」を演奏するバンドもあります。どのバンドも、それぞれの目標に向かって確実にステップアップしています。



た。振り付けもギターやドラムの伴奏も全て自分たちで担当しています。曲目も部員数も増やしているのです、これからもっと活発に活動していききたいと思っております。

剣道部創設50年記念祭のご案内

剣道部は、昭和39年4月または5月(正確なる月日は不明)に誕生しました。

よって、平成26年に創設50年記念祭を実施したいと考えます。

7月または8月を予定し、歴代の顧問の先生、卒業生・在校生をお迎えして、試合、交歓会等を行いたいと思っております。

予定が立ちますれば、卒業生にご案内をお送り致しますので、ご賛同下される方は、下記事項をご連絡頂きたいと存じます。

記

1. 記載事項 (②から⑤まではいずれかのみのご記載にても結構です。)

- ① お名前
- ② ご住所
- ③ お電話番号
- ④ FAX番号
- ⑤ e-mailアドレス
- ⑥ 卒業年
- ⑦ 当時の顧問の先生のお名前(ご存知ならば)

2. 宛先及び問合わせ先

- ① 高校
 神奈川県立鎌倉高等学校 中田 圭介
 〒248-0026 神奈川県鎌倉市七里ヶ浜二丁目21-1
 FAX: 0467-31-1669
 剣道部e-mail: kamaken2480026@yahoo.co.jp
- ② 大野 木 誠
 Ph: 090-7426-4659
 e-mail: turning_point-25th_anniversary@docomo.ne.jp
- ③ 金澤
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木四丁目34-1-101
 TEL&FAX: 03-3379-8636 Ph: 070-6575-0337
 e-mail: souzaemon@vega.ocn.ne.jp

平成24(2012)年度 進路状況概況

(注) 合は合計数 現は現役生の数です。

大 学 名	2013	
	合	現
法 政 大	53	51
星 薬 大	3	3
東京都市大	27	27
武蔵野大	6	6
武蔵野美大	2	0
明 治 大	78	56
明治学院大	59	53
立 教 大	50	40
早 稲 田 大	38	26
神 奈 川 大	24	22
神奈川工科大	2	2
鎌倉女子大	1	1
関東学院大	5	5
東洋英和女学大	5	5
フェリス女大	4	4
横 浜 薬 大	1	1
名古屋外大	2	1
同 志 社 大	1	1
明 星 大	2	2
立 命 館 大	2	1
関西学院大	2	1
高 千 穂 大	1	1
私立大学合計	808	664
文部省所管外		
海上保安学校	1	1
公立短期大学		
私立短期大学		
青山学院女短	3	3
東京農大短	1	1
帝京大短	1	1
そ の 他		
専 門 学 校	1	1
海 外 大 学	0	0

大 学 名	2013	
	合	現
駒 澤 大	15	13
産業能率大	4	4
実践女子大	1	1
芝 浦 工 大	3	2
城 西 大	1	1
上 智 大	23	11
昭 和 大	3	3
昭和女子大	6	6
昭和薬大	4	4
女子栄養大	2	2
女子美大	1	0
専 修 大	20	17
成 蹊 大	7	6
成 城 大	9	7
創 価 大	1	1
玉 川 大	15	15
多 摩 大	1	1
多 摩 美 大	1	0
中 央 大	60	45
帝 京 大	1	1
東 海 大	14	14
東京家政大	4	4
東京経大	1	1
東京女子大	1	0
東京造形大	1	0
東京電機大	4	4
東京農大	25	24
東京薬大	3	3
東京理大	11	9
東 洋 大	27	25
二松学舎大	1	1
日 本 大	45	38
日 本 歯 大	1	0
日本社会事業大	1	1
日本獣医生命大	1	0
日本女子大	4	3
日本赤十字看護大	1	0
文 化 学 園 大	1	1

大 学 名	2013	
	合	現
国立大学		
北 海 道 大	2	2
東 北 大	1	0
岩 手 大	1	1
筑 波 大	2	2
千 葉 大	2	2
東京海洋大	5	2
東京外大	2	1
東京学芸大	1	1
東京芸術大	1	1
電気通信大	1	1
横浜国立大	6	3
大 阪 大	1	0
香 川 大	1	0
国立大学合計	26	16
公立大学		
首都大東京	4	4
横浜市立大	6	6
神奈川保福	4	4
京都府立大	1	0
公立大学合計	15	14
私立大学		
国際医療福祉大	1	0
東京福祉大	1	1
文 教 大	2	2
京 平 成 大	1	1
青山学院大	45	35
桜 美 林 大	5	5
大 阪 芸 大	1	1
学 習 院 大	11	6
北 里 大	10	8
慶 応 大	20	10
工 学 院 大	4	4
国 学 院 大	10	10
国際基督教大	2	1
国 士 館 大	3	3

※ このデータは平成25年3月31日締めのもので、今後変動する場合があります。

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	3,515,847	3,515,847	0
61 回入会金	1,390,000	1,390,000	0
利 息	500	257	243
協 賛 金	2,000,000	2,530,098	▲ 530,098
寄 付	0	18,624	▲ 18,624
合 計	6,906,347	7,454,826	▲ 548,479

*協賛金のうち広告費 360,000 円

収入 - 支出

7,454,826円 - 3,572,841円 = 3,881,985円
(2012年度へ繰り越し)

〈特別会計（周年行事積立金）〉

繰 越 金	380,288
積 立 金	200,000
利 息	61
合 計	580,349

* 580,349 円（2012 年度へ繰り越し）

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 a - b
会 議 費	100,000	3,000	97,000
会 報 費	2,700,000	2,695,182	4,818
通 信 費	200,000	109,049	90,951
部 活 動 補 助	200,000	133,000	67,000
卒 業 記 念 品	250,000	218,300	31,700
設 備 整 備 費	200,000	170,740	29,260
交 通 費	50,000	23,000	27,000
事 業 費	100,000	10,630	89,370
雑 費	50,000	9,940	40,060
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	2,856,347	0	2,856,347
合 計	6,906,347	3,572,841	3,333,506

会計監査の結果、上記の通りであることをご報告します。

会計監査 立川 誠
廣田 真二

平成23年度
会計決算報告

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	3,881,985	3,515,847	366,138
入 会 金	1,555,000	1,390,000	165,000
利 息	500	500	0
協 賛 金	2,000,000	2,000,000	0
寄 付	0	0	0
合 計	7,437,485	6,906,347	531,138

〈特別会計（周年行事積立金）〉

〈収入の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰 越 金	580,349	380,288	200,061
積 立 金	200,000	200,000	0
寄 付	0	0	0
利 息	60	40	20
合 計	780,409	580,328	200,081

〈支出の部〉

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
会 議 費	50,000	100,000	▲ 50,000
会 報 費	2,900,000	2,700,000	200,000
通 信 費	200,000	200,000	0
部 活 動 補 助	550,000	200,000	350,000
卒 業 記 念 品	250,000	250,000	0
設 備 整 備 費	200,000	200,000	0
交 通 費	50,000	50,000	0
事 業 費	100,000	100,000	0
雑 費	50,000	50,000	0
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	2,887,485	2,856,347	31,138
合 計	7,437,485	6,906,347	531,138

備 考

会 報 費：「うしお」印刷費、送料
通 信 費：電話代、OCN利用料、切手代等
部 活 動 補 助：関東大会及び全国大会出場祝い金
インストラクター謝礼
設 備 整 備 費：ホームページ管理費を含む
交 通 費：ボランティア交通費
事 業 費：同窓会応援金

平成24年度
会計予算

鈴堀米平武中丹大設石青西小小山佐菊荻岡横安尾浦岩 S 井新和末標田竹谷浅須松小松小篠篠氏三今高
 木内倉野藤島羽聖楽田木村林泉田藤地原本山藤崎崎本 56 森倉中吉 中下田沼田本浦桑田原平齋林橋
 あ 藤島羽 寺 敏綾均 清広峰尚一規裕知義里美淳 紀文公恵美智久奈理晴亜昌麻理良千美
 俊信康か 律利 敏綾均 清広峰尚一規裕知義里美淳 紀文公恵美智久奈理晴亜昌麻理良千美
 介彦子ね勝功子幸也乃一剛美美彦子弘彦介明樹美佐子 淳子健徳重子子世代子絵美紀一子子江昭子

中知大清正神小室市三高古栗岩岩安 S S 田田中大石石石青西杉山山山山三佐圭牛菊角加岡関鈴櫻小 S
 村見橋水木本野岡川上恵橋も田澤井部 58 57 代村川井渡原丸木澤山幸真二博祐之一佳森義俊泰佳 道す佳健文京 57
 智美重哲紀寺京領美り雅一佳久同窓会 敦 順 宏一美 博祐之一佳森義俊泰佳 道す佳健文京
 樹穂人也滋子優子子子巧美裕美子徳 会子子淳子学尚成子音樹信郎子徹也雄彦子淳則ず子二子子

早 S 櫻北飯薄田田長中水織三佐高高古犬糸関加岡遠平 S 立八畑竹船秦神上手室圭井伊豊本 S 平田長
 川 61 井詰田木中中山久上田上竹島橋川飼 根藤崎藤林 60 野田 内越誠山中老谷室上丹竹山 59 野中谷
 朋 和 秋敦正友尚夏寛好耕昌義一孝美美 吉淳り則玲 哲幸克理瑞一裕千孝俊京浩由洋智 夏紀祐
 子 子乃子行行美子行樹二之博紀一子恵司晃一え子子 州江海恵保郎司愛子子子志紀佑子 子子子

H 鈴東田中中大大倉松佐黒戸 S 柳野豊樋内田津竹新松小小橋吉吉井山小小 S S 本風藤藤松小小山高
 1 木野岡山戸島森橋澤藤瀬村 63 田本島口藤中田居長澤野本武田上島島飼 62 61 年吉か 卒同窓会 剛り展江二子哉嗣美
 清由 康幸桂裕広朗陽呂 秀祐津 貴朝さ正 泰素葉千弘博 恵百直 剛り展江二子哉嗣美
 美り子康裕亮子直篤子子子 恵子子博子子ほ浩尚幸子月織子之宏美合美

安 H 田大青佐黒荒元宇井高 H 齊木藤竹石西水若山坂古近安 H 蛭齋矢堀福服藤大松小小小戸岩関加益
 井 4 村山木成川森上橋 3 藤村原内井村上井本本賀藤達 2 子藤部井島部間橋野川海簾本 藤山
 弘 優委克ち つ勝智 英麻 広克麻正隆宗勝詩太 紀 二 紀康晃伸も 政美 史計祐加 恭 孝 敬 隆
 子 子義彦え愛さきる信子 介子晃子典理紀彦吾舌乃郎子 郎枝博夫享子誠仁子生介資志子哲子太

水植安 H 中岡 H 福太山安鈴 H 大川松 H 長下 H 藤江井狩 H 眞鈴早浅石沼山三笠 H 原矢北仲中知川成井
 谷泰朗 木達 原崎 10 室本斉木 森上宮 8 瀬 國 谷尻上野 6 野木川海川上本橋原 5 輝 靖幸曉史祐光将美
 麻希子 亮哲 洋 麻功香 啓一美 郁 和治栄 楨桃 周一 由賢憲 輝 靖幸曉史祐光将美
 子 一郎 11 宏愛 之晋紀平予 子直奈 徹子 枝史子静 久子崇洋平郎香治司 雄子美子枝介弘人菜

H 日大千小小川石 H 布熊橋 H 深太 H 嶋千 H 龍野田石 H 中川佐金伊 H 有石高角加 H 田村佐 H 小 H 天石
 22 野杉頭町衆真神 井野本 21 20 田 19 18 前澤中輪 17 川西藤澤東 16 田坂出田藤 15 中田藤 14 13
 浩洸澄 奈 平一 克一 洋 唯沙由雄 泉慶太 俊聖 和 武美 陽七 友 大康
 介平土彩歩美昂 太成歩 洋朗 愛介 似知紀介 穂子郎昌美 代悠悟頼緒 翼香生 利 輔章

川石税清杉森城松小佐佐佐高江菊岩梶伊 H 鈴菽藤長大大数後月丸夏塩永 H 鐵税清上小三佐原田竹柿
 上田所水本田戸井畑藤藤々橋見地崎谷富貴 24 木野澤澤谷鋸田藤館山目田井 23 所水山池浦 藤駿中沢沼
 亮陽祐義奏曉 明智李初 佑由涼 康祥杏 貴裕美應基雄亮一大詩 将弘 太 翔彩 季杉 太哲 由
 太子太也絵洋翔佑恵奈美典佳香彩大子奈 子一咲秀貴介介朗輝織奎平人 朗郎平花子妃充朗人幸香

内訳：ゆうちょ銀行へのお振込み	649 件	1,889,720 円
コンビニエンスストアへのお振込み	743 件	2,117,910 円
横浜銀行へのお振込みおよび現金	26 件	140,000 円
参考：2011 年度は	620 件	2,170,098 円

フジモトヨシタカ
 卒年不明
 脇鈴鈴矢矢矢本道藤田長中中中大大泰足浅
 坂木木崎野嶋田浦本邊澤村村川庭谷川立見
 祐大志く桃耕友雪一史直太之章多京悠
 希輝創歩み子平貴花己記斗祐介史李朗子介

平成25年度総会&懇親会のお知らせ

昨年も6月に総会、懇親会を行い、幅広い年代の多くの方にご参加いただき楽しく過ごすことが出来ました。

本年も、以下の通り総会&懇親会を行います。多くの方にご参加いただき、新しいうしお会の方向を話し合ひましょう。懇親会バーベキューには、今回も、多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

■ 平成25年度総会 ■

以下の日程で行われます。

日 時：平成25年6月22日(土) 11:00~12:00

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール
(旧図書館の場所)

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）
でしたらどなたでも

議 事：(1) 平成23年度事業報告について
(2) 平成23年度会計決算報告について
(3) 平成23年度会計監査報告について
(4) 平成24年度事業計画案について
(5) 平成24年度会計予算案について
(6) 平成24年度・平成25年度
役員について
(7) その他



写真は昨年6月の様子

うしお会 懇親バーベキュー大会のご案内

今年度も、総会終了後、懇親会を開催します。晴天ならば屋外でバーベキューを行います。年齢を超えた先輩後輩の親睦を深めましょう!!

日 時：平成25年6月22日(土) 総会終了後12:30頃から

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール前の中庭（雨天の場合はホール内）

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）でしたらどなたでもご出席いただきたく存じます。
また、ご家族の皆様もお連れ下さい。

参加費：1,000円（小学生以下無料）

申込み：うしお会のホームページよりメールフォーム
またはファックスにてお申し込み下さい。



昨年6月の記念撮影

役員役割分担

- 会長 鈴木勝貴 (S45年卒) 総括
- 副会長 増田隆之 (S40年卒) 総務担当
- 副会長 森田豊文 (S41年卒) 会報担当
- 副会長 深澤隆史 (S41年卒) 会計担当
- 会計監査 廣田眞二 (S42年卒) 会計監査
- 書記 高橋建二 (S46年卒) 総務(運営担当)
- 書記 堀 英彦 (S46年卒) 総務(名簿担当)
- 書記 渡辺 晃 (S47年卒) 総務
- 書記 峰 治 (S56年卒) 総務
- 書記 渡邊葉子 (S62年卒) 総務
- 書記 新田 尚 (S62年卒) 会報
- 書記 桜井 淳 (S55年卒) ホームページ
- 書記 奥蘭千栄子 (S48年卒) 会報
- 書記 富田朝子 (S49年卒) 会報
- 書記 叢 秀樹 (S51年卒) 会報
- 書記 伊東史峰 (H10年卒) 会報

- 書記 安井弘子 (H4年卒) 会報
- 書記 梅津美葉 (H5年卒) 会報
- 顧問 滝沢茂男 (S41年卒)

学校側役員

- 校長 柏木隆良
- 副校長 伊藤 剛
- 教頭 永田 宏 (S54年卒)
- 事務局 小柴健司 (S48年卒)
- 事務局 木暮博道 (S54年卒)
- 事務局 醍醐 幸 (S58年卒)
- 事務局 的野鈴恵 (H元年卒)

編集後記

昨年協賛金の振込み方法として、郵貯及び横浜銀行に加えてコンビニからも出来るように致しました。その結果、協賛金の振込み件数及び振込み金額が約2倍に増えました。この場をお借りしまして皆さまに感謝申し上げます。

これからも引き続きご支援をお願い致します。

「みんなで作ろううしお」…投稿・ご意見募集!!…

同窓会「うしお会」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にめれなく会員となっており、ます。在学中、楽しかった人も、楽しくなかった人も、卒業後は新たな世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。

世代は違っても、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお会」を通してリンク(つながって)していきたいましよう!!

会では、会報誌「うしお」や同

窓会ホームページをもっと沢山の方々に利用し、楽しみ、仲間の輪を広げていただきたいと思っております。

そこで、「みんなで作ろううしお」と題して、投稿やご意見を募集しております。同窓会でこんな行事してほしい。(講演会、合唱コンクール!?: : e t c)活躍する鎌高卒業生、鎌高卒の有名人、鎌高卒の方のお店紹介。私こんなことやってます。是非見て、聞

❖ 広告募集 ❖

会報「うしお」の広告を募集しております。厳しい経済環境ではありますが、会員皆様のより一層のご協力とご理解を、お願い申し上げる次第です。

- 料金 / 一 枠 : 10,000円
- お問い合わせ先 : うしお会広告事務局
☎ 0466-25-1035
✉ pet@toretate-shonan.com

いて…等など。こんな記事があったら、こんなコーナーがあったら盛り上がるよ、というような事ありましたら同窓会までお知らせください。お待ちしております。

県立鎌倉高校同窓会「うしお会」事務局
メール :
Email:kamakako@ceres.ocn.ne.jp
Fax : 〇四六七-三九一三六八
ホームページアドレス :
http://www.ushiokai.net.

インターネットでどんどん広がる「うしお会」

<http://ushiokai.net>

うしお会 で検索!

インターネットによる情報収集や通信販売がますます盛んになっていく世の中です。うしお会のホームページもどんどん進化していきます。

会報誌「うしお」のウェブ配信はもちろん、皆さんの参加でフォトギャラリーや同窓会情報など多くの同窓生にとって、いつも新しい情報が掲載されていて、アクセスするのが楽しいホームページに進化させていきましょう。

ポイント!!

1. 会報誌「うしお」が配信されています。
2. 住所が変わった方から簡単にご報告いただけます。
3. 鎌高周辺の美しい風景のフォトギャラリー。
4. 各年代で行われる、または行われた同窓会情報をご覧いただけます。
5. 同窓会情報のページはインターネット上で情報交換が可能です。
6. 鎌高公式サイトの最新情報も自動的に更新されます。
7. 携帯でもご覧いただけます。
8. facebook でも「うしお会」仲間がグループを作って情報交換中です!
「友達を検索」してみてください!!

どうぞ、「お気に入り」に入れて、毎日ご覧になってください。



フェイスブックを楽しんでいる人達の間で自然発生的に出来上がった「鎌高 OB・OG のフェイスブックのグループ」には現在約 100 人のうしお会の会員が参加しています。

ここでは日々の鎌高 OG、OG の活躍の話題などが情報交換され、そして年代を超えたソーシャルネットワーク上のコミュニケーションが行われています。

フェイスブックのアカウントを持って投稿をされている方は、是非、ご一緒しましょう。「非公開のグループ」の設定となっており、グループ参加者以外には見られない設定になっています。従って参加するためには、既に参加されている人の「招待」が必要です。また、すべての参加者はお知りあいの鎌高 OB・OG を招待することも可能です。同級生や先輩後輩のうしお会員がまだ、このグループに参加していなかったら是非、ご招待ください。

さて、フェイスブックをやっていない方（アカウントを持っていない方）は、是非、Yahoo!やGoogle でfacebookと検索して、指定の項目に答えてアカウントを取ってみてください。 実名で本人の顔写真を使ってコミュニケーションをすることが基本ですが、そうでない人も実際にはいらっしゃいます。 個人情報の流出など心配すべきこともないとは言いませんが、まずは試してみてください。

発行所

鎌倉市七里ヶ浜 潮会
鎌倉高等学校 同窓会

電話 〇四六七 三二一四八五一
事務局直通 (TEL/FAX) 〇四六七 三九一三六六八

発行
二〇一三(平成25)年
五月三〇日

<http://www.ushiokai.net>
E-mail: kamako@ceres.ocn.ne.jp

お名前とメールアドレスをご連絡ください。
事務局からご招待のメールをお送りいたします。